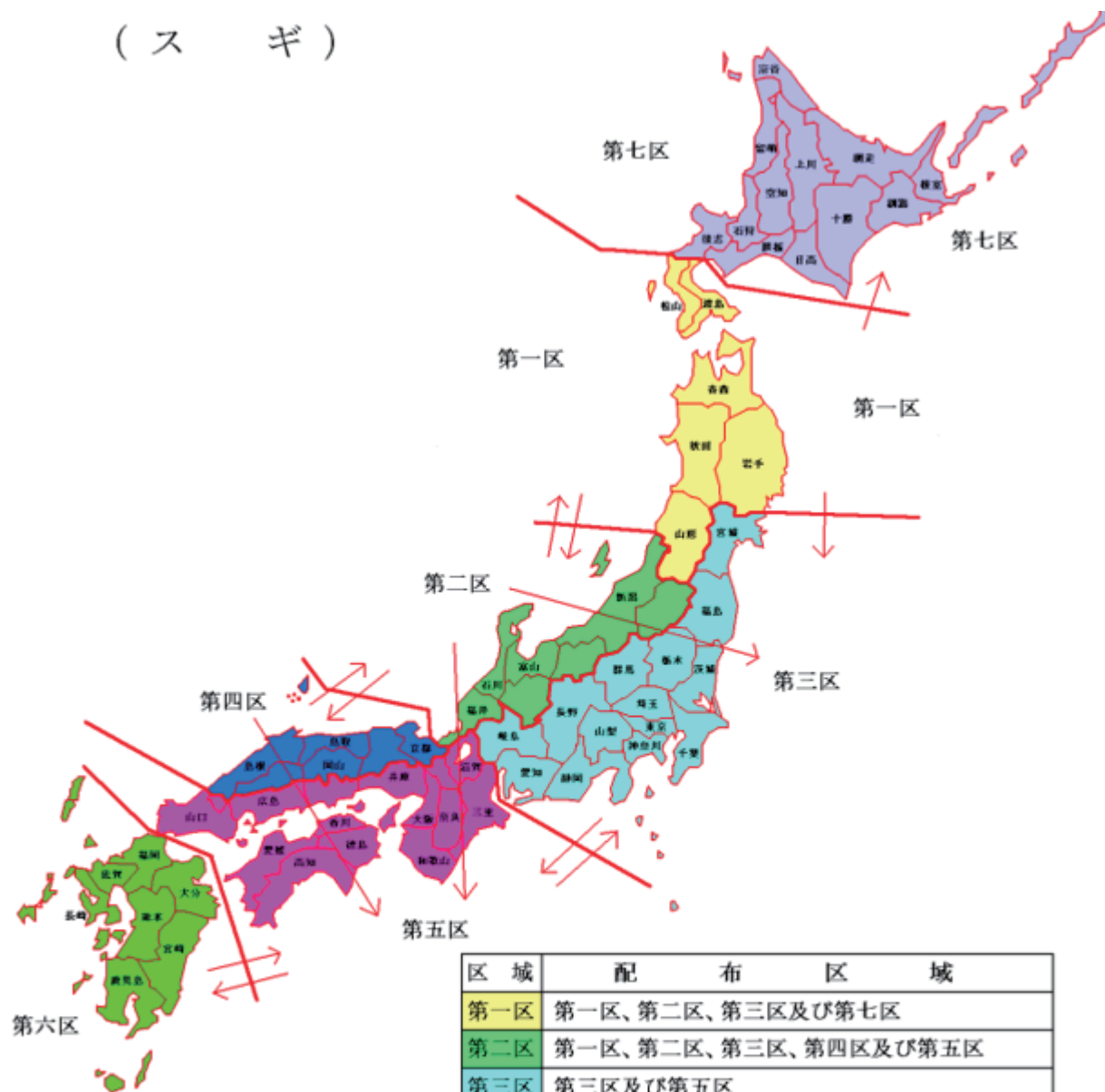


1. スギの種苗配布区域

(スギ)



区 域	配 布 区 域
第一区	第一区、第二区、第三区及び第七区
第二区	第一区、第二区、第三区、第四区及び第五区
第三区	第三区及び第五区
第四区	第二区、第四区及び第五区
第五区	第三区、第五区及び第六区
第六区	第五区及び第六区
第七区	第七区

→ : 矢印の方向へ、種苗の配布（移動）が可能



2. 用語の解説

1) 【エリートツリー】

第2世代以降の精英樹の総称。全国各地の国有林や民有林で選抜された第1世代精英樹の中でも、特性の優れた系統等を交配して作出した実生後代の中から選ばれた、第2世代以降の精英樹。成長性、材質や通直性が遺伝的に優れていることが期待される。

2) 【特定母樹】

「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法（間伐等特措法）」に基づき、成長に優れたものとして農林水産大臣が指定した系統。在来の系統と比較して1.5倍以上の材積を示すため、特定苗木を活用することで森林のCO₂吸収能力を高めることが期待される。また、スギ・ヒノキに関しては、花粉量が一般的なスギ・ヒノキのおおむね半分以下であることが指定基準となっているため、特定母樹は「花粉の少ない品種」としての定義もあわせ持つ。

3) 【遺伝試験林】

次代検定林の種類の1つ。精英樹の形質の遺伝様式等を知ることを目的とし、精英樹のクローン（さし木苗木）や精英樹の交配家系（実生苗木）で造成される。

4) 【次代検定林】

選抜個体の子供（次代、または後代ともいう）の成績から選抜個体の遺伝的能力を評価することを次代検定（後代検定）と呼び、そのために造成された試験林を次代検定林と呼ぶ。次代検定には、精英樹の評価や選抜効果の確認、遺伝パラメーターの推定や次世代精英樹の選抜といった目的がある。

5) 【エリートツリー候補木】

エリートツリーを選抜するための試験林に植栽された精英樹の実生後代で、樹高及び胸高直径によって算出される材積から、5段階評価（評価値5が優れている）で、評価値が4以上に相当するものを選抜した個体。エリートツリー候補木の内、幹の曲りや材質に著しい欠点がなく、病虫害に脆弱ではないことが認められ、スギ・ヒノキについては雄花着花量が多くないことを確認した上でさらに選抜された個体がエリートツリーである。

6) 【クローン検定】

系統間の遺伝的な差異を評価するため、検定を行う系統からクローン苗木（通常さしき苗木等の無性生殖により増殖された同一の遺伝子型を持つ個体群）を作出し、それら個体を試験地に植栽して、定期的な特性調査を行い、系統間の差異を評価するために行う検定。



7) 【育種集団林】

次世代の精英樹を選抜するための母集団とすることを目的とし、成長、材質などに優れた精英樹同士、あるいは精英樹と気象害、病虫害抵抗性個体との間の人工交配で育成された個体群で造成された試験地。エリートツリーの選抜に活用。

8) 【育種価】

その系統が持っている遺伝的な能力を数値で表したもの。解析対象としている形質に影響を与える複数の遺伝子の効果が足し合わされた数値。高い育種価を持つ系統は、より優れた遺伝子を持ち、その子孫も優れた性質を受け継ぐ可能性が高いと期待される。

9) 【BLUP (best linear unbiased prediction) 法】

育種において遺伝的能力を評価するために用いる統計的手法。様々な環境要因をモデルに組み込んで補正しながら育種価を予測するために考案された方法で、家畜育種等の分野で広く使われている。

10) 【空間自己相関誤差】

隣接する個体間のもつ誤差に相関を仮定したもの。空間自己相関誤差はその仮定から、成長等の表現型値に含まれる立地環境の不均一性による効果を分離できるものと期待される。

11) 【ASReml】

線型混合モデルからBLUP値を求めることのできるソフトウェア。

12) 【ヤング係数】

材料の変形しにくさを表している係数のこと。ヤング係数の値が高いほど変形しにくいことを示す。

13) 【応力波伝播速度】

材料中を応力波が伝播する速度を表す物理的な指標。一般的に、固体材料や構造物において、外部から加えられた応力や衝撃などの力が材料内部を伝わる際に生じる波動の速度を指す。ヤング係数の高い材料や密度の高い材料ほど、応力波の伝播速度は速くなる。物体中の応力波伝播速度 (m/s) の2乗と密度 (kg/m^3) の積がヤング係数である。